

市民の文化にスポットライト

# ぶんかのめ



## ぶんかのめ vol.10

さかい たかまさ 1977年愛知県刈谷市生まれ/白磁作家 東北芸術工科大学で陶芸を専攻し同大学院(會田雄亮研究室)へ進学修了。(公財)本間美術館学芸員を経て、2003年愛知県刈谷市に「たかたか!工房」開設。主に、石膏型による磁土の鋳込み技法で作品を手がける。



白磁作家 酒井 崇全氏

## 白い虹 WHITE RAINBOW

白磁作家の酒井崇全さんに刈谷市内に開設されている工房でお話を伺いました。

### ■白磁の持つ魅力とは?

文字通り純粋無垢な「白」が基本ですが、光の当たり具合の陰影で様々な表情が生まれます。また、手にする人の心持ちによって、いろんな色に見えるのではないのでしょうか。僕はそれを「WHITE RAINBOW」と言っています。磁器には透光性もあり、磁器にしか出せない特性を最大限に引き出すことを心がけています。

### ■作品に込める思いは?

「白」というと、どちらかと言えば冷たく硬いイメージをいだきやすいですが優美な曲面を多用したり、光源を内包し柔らかな光を放つ作品などで別の一面を表現しています。「ピーチシリーズ」もそれを具現化したもののひとつです。(ある空間に作品が置かれたとしたら、)主張はしなくとも存在感は放ってほしい。「埋もれてもなく、独りよがりにも目立ってもいない」が目指すところです。

### ■作品のアイデアはどこから?

友人、仲間、工房に集う生徒さんとの何気ないやりとりから生まれることも多々あります。発せられた言葉の連想ゲームから飛び出てくることもあるんですよ。

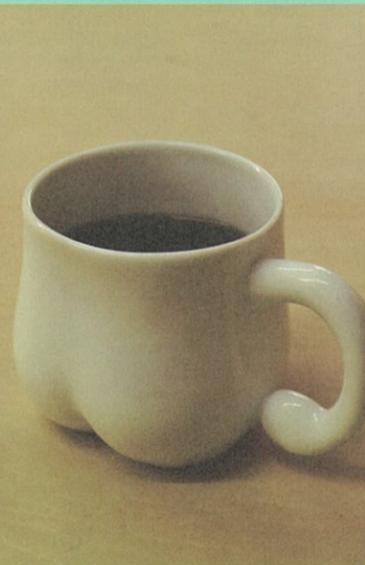
いつもの生活のワンシーンが、僕のつくる作品が加わることによって、少し素敵になればいいなと思っています。

① <https://www.facebook.com/sakaitakamasaoofficial>

■詳細は、文化工房かりやのブログ <http://bkkariya.wordpress.com/>で!



ピーチシリーズ ランプシェード



ピーチシリーズ マグカップ



ピーチシリーズ 花瓶

市民目線の“キキミミ”文化

## 文化工房かりや カリチャー 倶楽部

毎週水曜日  
午後4時から  
1時間放送

Pitch FMラジオ番組



文化・芸術とアイリスを身近なものに。

# 文化工房かりや

市民目線の文化発信、「みんなで文化、創造中。」

〒448-0858 愛知県刈谷市若松町2-104  
TEL:0566-21-7430/FAX:0566-21-7440  
mail:bunkakobo@kariya.hall-info.jp

Twitter : @B\_K\_kariya

Facebook : bunkakouboukariya

Blog : [bkkariya.wordpress.com](http://bkkariya.wordpress.com)



BUN-KA Kariya Culture [ブンカ] vol.11 平成27年4月1日発行 April 1, 2015 issue design / Takasu Yuka 発行 〒448-0858 愛知県刈谷市若松町2-104 2-104, Wakamatsudcho, Kariya-shi, Aichi, 448-0858, Japan edit/bunkakouboukariya public relations section

文化工房かりや

# BUN-KA

Kariya Culture [ブンカ]

ハル号  
vol. 11  
2015



発見、  
身近な「素敵」  
刈谷ハイウェイオアシスの隣にある岩ヶ池の真ん中の蛇島に祭られている弁才天。いつもは水の上に浮かんでいるのですが珍しく水がひき、歩いて行くことができました。

[特集]  
市制65周年記念公演  
文化工房かりや第5回企画公演  
アーティスト発表  
出演者募集

[レポート]  
「刈谷魅力再発見」ワークショップ

[マールマルシェ]  
ちょこっと裏話その2

[ぶんかのめ]  
白磁作家 酒井崇全氏

文化工房かりや

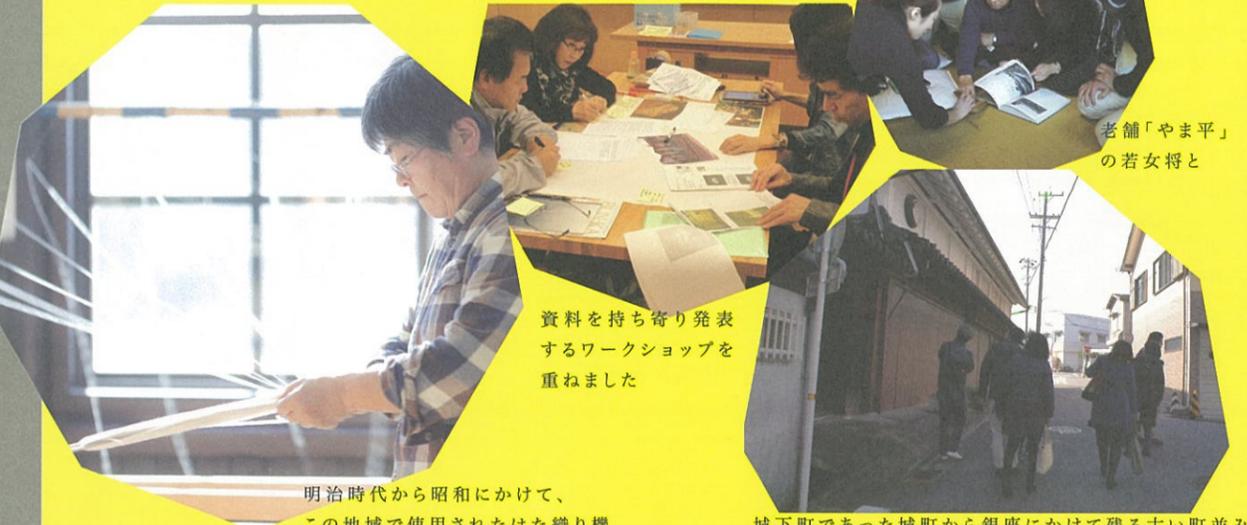


刈谷市北部にある富士松北小学校の運動場中央にある巨木、アベマキの木



亀城尋常高等小学校の本館。現在、国の登録文化財となり、郷土資料館となっている

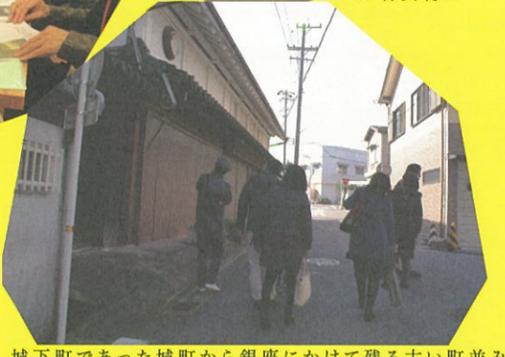
「刈谷魅力再発見」ワークショップで、刈谷のまちをフィールドワークして素敵なお話の原石が見つかりました。



老舗「やま平」の若女将と

資料を持ち寄り発表するワークショップを重ねました

明治時代から昭和にかけて、この地域で使用されたはた織り機



城下町であった城町から銀座にかけて残る古い町並み

市制65周年記念オリジナル公演を共に創るアーティストの3人です！

「刈谷のまちを見ながら、観光地でない刈谷に生きてきた人の歴史に触れて「人に歴史あり」をクローズアップした作品を創りあげたい。」



脚本・演出 川村 ミチル かわむら・みちる  
演出家。劇団そらのゆめ主宰。脚本や演出作品には「はたる館物語（公共ホールとの市民参加型共同事業）」、「夏想い（山県市創作市民劇）」等多数。俳優としての学校公演活動の他に、演劇ワークショップ、表現教育授業等多く務める。

「普通だったら出会わないものとか、人とか、場所とかに触れるタイミングをもらえました。いろんなものが重なってくるようなもの…そんなものを作品の中に入れていきたい。」



音楽 橋本 知久 はしもと・ともひさ  
音楽家。アトリエ・ラーノ代表。オランダで作曲とダンスを学び、帰国後国内各地で活動を展開。作品は日本、オランダをはじめ各地で上演、演奏されている。2013年『イシノオト』（あいちトリエンナーレ2013）、2014年『語りと音で誘うシャガール』（愛知県美術館）など。



振付 山田 珠実 やまだ・たまみ  
振付家。ダンサー。2004年長久手町において、町民参加によるダンス作品を発表。以降、各地の劇場に地域住民によるダンスを提供。作品を発表する。（財）地域創造ダン活支援アーティスト。名古屋大学、愛知淑徳大学非常勤講師。

申込締切は  
4/25 土

市制65周年記念公演では、  
「一緒に舞台に立つ仲間を募集します」  
小学4年生以上ならどなたでも！経験不問！  
公演日：12/20（日）会場：刈谷市総合文化センター 大ホール  
※詳しくは、刈谷市総合文化センターホームページをご覧ください。  
<http://www.kariya.hall-info.jp>

# 文化工房かりやは、市制65周年記念公演に向けて疾走中！

今回の「文化工房かりや企画公演」は、結成5年間の集大成の舞台です。  
名古屋を拠点に広く活躍する脚本・演出家の川村ミチルさん、音楽家 橋本知久さん、振付家 山田珠実さんの3人を招き、刈谷を題材とした演劇、歌、ダンスを交えたオリジナル市民劇を創作し、大ホールにて上演します。  
市民劇のための準備は、既に昨年からはスタートしています。昨年の10月から3回にわたり市民の皆さんと「私しか知らない・自慢したい・自分の好きな刈谷」の写真を持ち寄り、写真から導き出される刈谷の新たな魅力を

探す「刈谷魅力再発見」ワークショップを開催しました。川村さんと、橋本さんも参加し、12月に行われる舞台公演の題材探しをしました。  
続いてワークショップで集められたさまざまな素材を頼りに、昨年11月から今年1月にかけて、南北にのびる刈谷市内各地を、川村さん、橋本さんと文化工房かりやメンバーで取材しました。運動場内に長年アベマキの木がそびえたつ富士松北小学校、刈谷市の北部、カモの飛来する岩ヶ池に隣接する貴重な雑木林「北っ子の森」、かつて日本の通信の中核となり、貴重な産業遺産である送信機器類が数多く展示され、歴史を振り返る

ことができる依佐美送信所記念館、城下町であった城町から銀座の古い町並み、郷土資料館などを巡りました。  
「刈谷という地で住んでいる方々の声も聞きたい」という両氏の希望もあり、昔ながらの映画館をこだわりながら経営されている「刈谷日劇」社長の堀部さん、明治20年から創業されている老舗鰻店「やま平」の若女将鈴木さんからお話を伺いました。  
アーティストと市民が「刈谷のまち」を見て、聞いて、触れて創り上げる12月の公演がどんな内容に出来上がったのか…みなさん、楽しみにしてください。



## ちょこっと裏話その2 思いやりサポートで 公演準備

打ち合わせにチラシやプログラムの作成等々、公演準備は細々と神経を使う作業が続きます。そして公演当日は体力勝負！高く積み上げられた平台と椅子を「よしっ」と気合を入れて並べていきます。アトリウムに必要な備品を出し、音響機材をセッティングするのはアイリスの職員さん。文化工房かりやスタッフが作業に手間取っていると無言で手助けしてくださったりして、密かに「なんか、かつこいいづ」と思わずにはられない。とは言え、回を重ねるごとに私たちも手際良くなってきました。出来上がったステージに上がったり、客席に座ってみたり「これなら出演者もお客様も気持ちよく過ごせるかな」と確認をして本番を迎えます。終演後は皆さんの笑顔を見送りながら、またせつせと後片付け。遅れてやってくる筋肉痛はよく働いた証……しかし……求む、力持ち！！



平成27年度  
前期開催日  
出演者決定！

### 公演スケジュール

- 5月16日(土) 13:00～14:00  
出演者 京バンド<フルート、ギター、チューバ、カホン>  
サラ・ミュージックスクール<声楽>
  - 7月18日(土) 時間未定  
出演者 陽影月(ヒカゲツ) <津軽三味線&キーボード>  
オカリナーモ<オカリナアンサンブル>
  - 9月19日(土) 時間未定  
出演者 グリーンハープス<ヴィオラアンサンブル>  
みよしゴスペルクワイア<ゴスペル>
- ※公演内容の詳細や公演の様子はホームページ、SNSをご覧ください。